

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392600116
事業所名	グループホーム喜ら里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームで保育園の生活発表会やピアノ教室の発表会を行ったり、大名行列が訪れ利用者と一緒に写真を撮っている。法人の10周年祭では地域ボランティアの協力と大勢の近隣住民の参加があり大盛況であった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は併設施設と合同開催をし、行政や自治会長、民生委員、ボランティア、家族等が参加している。報告をはじめ活発な意見交換が行われており、家族が地域との関わりを知る良い機会にもなっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の連絡協議会の施設部会役員に任命されたり、各種研修に参加するなど市と協力関係にある。また、地域包括支援センターとも町カフェ（認知症カフェ）の運営や紹介、相談などで連携をとっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	イベントや家族会など家族が訪問する機会を作り、意見や要望を聞き取っている。また、運営推進会議には1年を通して家族代表が出席をしている。ホーム便りは個人毎に写真を替えるなど工夫をしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○		